

ハラスメントの防止対策について

いじめ・嫌がらせ、パワーハラスメントが社会問題になっています。昨年3月、厚生労働省から、「職場のパワーハラスメントの予防・解決に向けた提言」が出されました。本学におきましては、「明治東洋医学院ハラスメント防止対策に関する規則」等が整備され、これまでのシステムが改編・統合されて、来年度4月より新規にハラスメント防止対策の組織がスタートします。防止対策に向けた「リーフレット」等を作成して広報活動を行い、研修のための講演会を実施してまいります。また、ハラスメントの事案については、相談窓口を設置し迅速な対応と適正な解決に努力してまいります。ハラスメント防止対策への本学の取り組みに一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

栄養満点で安い!

学食「こもれび」が「たんとおあがり 京都府産」施設に認定!



学食「こもれび」が京都府より「たんとおあがり 京都府産」施設に認定されました。この制度は、府が地産地消の推進を目的に実施しているもので、京都大学のカフェとともに、大学関係では初めての認定となりました。「こもれび」では、賀茂なすや九条ねぎなど地元産の野菜や米を使用し、栄養バランスのとれたヘルシーなメニューを提供しています。また、今回の認定は、京都新聞(2012.8.18)でも取り上げられ、紹介されました。



リラクゼーション看護講座

「自分を護り、患者の健康増進を支援するために」

看護学部 山田皓子

e-ラーニングで学ぶ「リラクゼーション看護講座」教育プログラムは、わが国において、初めて開かれるリラクゼーション法を体系的に学ぶための専門講座(看護職対象)です。プログラムは、1年間を通して次の3つのレベルを段階的に学習していきます。

レベルⅠ [セルフケアの実践] — 5/11(土)・8/31(土)・9/21(土)

レベルⅡ [臨床での患者指導] — 9/21(土)・12/21(土)・1/11(土)

レベルⅢ [複雑な問題を持つ臨床事例への指導] — 1/11(土)・3/22(土)

受講方法

- 1 インターネットを利用した自己学習と課題提出(e-learning)
- 2 大学でのテレビ会議によるグループ学習

申込受付 平成25年3月1日~4月15日(受講料無料)

お問合せ relaxation_kango@meiji-u.ac.jp

詳しくはHPをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。

編集後記

東北・北海道ではまだ豪雪に悩まされている地域もありますが、ここ、日吉の里ではこの冬は積雪も少なく大過なく過ごすことができました。3月も半ばとなり、一進一退ながら次第に寒気も和らぎ、本格的な春の到来を目前にしています。さて、来る3月15日は卒業式、今年も鍼灸学部:47名、保健医療学部:29名、看護学部:56名が学士として無事卒業、期待を込めてそれぞれの進路へ巣立っていかれます。大学院では博士:3名、論文博士1名、修士:17名、さらに一昨年開講された通信制大学院(修士)では13名の方々各課程を修了されることとなります。新たな環境あるいは新たな心境の下での皆様のご活躍とご発展をお祈りいたしております。

(文責:松浦忠夫)

当大学だよりに関するご意見ご要望および記事のご投稿は、大学事務局 教学課までお願いします。



鍼灸学部[鍼灸学科] * 保健医療学部[柔道整復学科] * 看護学部[看護学科] * 大学院[鍼灸学研究所]
〒629-0392 京都府南丹市日吉町 TEL 0771-72-1183 FAX 0771-72-1189
E-mail gakusei-shien@mst.meiji-u.ac.jp 携帯サイト www.meiji-u.ac.jp/i/



明治国際医療大学だより

News from Meiji University of Integrative Medicine Vol.6

大学情報誌

卒業おめでとう!

3月15日、平成24年度卒業式・学位授与式が執り行われ、166名の学生達が未来に向かって新たな一歩を踏み出しました。きらきら輝く皆さんの笑顔は4年間で培ってきた自信に満ち溢れ、とても頼もしく感じられました。今後のみなさんのご活躍を心よりお祈りいたします。なお、今年は通信制大学院の第1期生13名が修了し、鍼灸学修士の学位が授与されました。



卒業式終了後「京都ブライトンホテル」で行われた卒業記念パーティーでは、4年間で共に過ごした仲間やお世話になった教職員の先生方と大いに盛り上がり、名残を惜しみながらも大学生活の最後を締めくくりました。

成績優秀者 各賞発表

このたび、卒業予定者の中から成績優秀者に贈られる各賞が次のとおり選考されました。受賞者には、3月15日(金)の卒業式・学位授与式において、各々表彰状と記念品が贈られました。



- | | |
|-----------------|-----------------|
| 学長賞 | 周平(鍼灸学部) |
| 学長賞 | 谷垣 賢(保健医療学部) |
| 学長賞 | 瀬見千砂(看護学部) |
| 谷口健蔵賞 | 富永 敦(大学院博士後期課程) |
| 全日本鍼灸学会会長表彰 | 北林 知佳(鍼灸学部) |
| 日本鍼灸師会賞 | 原 敬昌(鍼灸学部) |
| 日本柔道整復師会賞 | 杉本 健剛(保健医療学部) |
| 日本柔道整復師会賞 | 栗栖 学(保健医療学部) |
| 日本私立看護系大学協会会長表彰 | 栗栖 学(保健医療学部) |
| 京都府看護協会花東 | 仲北 萌(看護学部) |
| 答辞 | 笠岡 貴雄(看護学部) |
| | 桂 功大(保健医療学部) |

授業紹介 「外国語」

社会のグローバル化にともない、英語をはじめとする外国語でのコミュニケーション能力が医療従事者にも求められています。本学では、「英語」「中国語」「フランス語」の授業を開講し、日本以外の言語や文化を学びながら、次代の医療人としての教養を深めていく機会を提供しています。今回は本学の外国語授業をいくつかご紹介します。

医学教育研究センターとは？

学部、大学院の「教養教育」「基礎医学」「臨床医学」に関する教育を担当するとともに、教養教育の充実や横断的に基礎・応用研究を推進し、本学の教育研究活動の促進を図っています。

LECTURE_1

英語Ⅱ

この授業では、多様な英文を幅広く読み英文の構造や概要、要点をしっかりと把握し、内容について感想・意見が言えることを目標としています。

浅野 敏朗 先生

- 英語Ⅰ・Ⅱ (看護1年)
- 医療英語Ⅰ・Ⅱ(看護2年)
- 医療人のための英語(鍼灸2年・保健2年)



LECTURE_2

中国語Ⅱ

この授業では、中国語の発音から簡単な日常会話で「聞く、話す」能力、簡単な文章を読むことによって「読む、書く」能力を修得することを目標としています。

中山 肯英 先生

- 中国語 (鍼灸1年・保健1年・看護1年)
- 中国語Ⅰ(看護2年)
- 中国語Ⅱ(看護2年)



LECTURE_3

英語コミュニケーション

この授業では、英語の口頭でのコミュニケーション能力を身に付け日常的な事柄を正確に表現する能力を習得することを目標としています。

パトリック クライン 先生

- 英語コミュニケーション(鍼灸1年・保健2年・看護1年)
- 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ(看護2年)



「鍼灸学部の国際交流」

鍼灸学部では、海外から鍼灸の短期研修を受け入れています。本年度は9月10日より、ポルトガル共和国で日本の鍼灸を学ぶ学生4名が研修を受けられ、短期研修修了証が授与されました。

Miguel Ramires(ミゲル・ラミレス)氏のコメント

「私は幼少期から、日本の武道や、少林寺拳法、アニメなどの文化に触れて、日本に対して憧れを持っていました。一方、他人に貢献できる医療という仕事は、素晴らしいと考えています。ですから今回、日本で医療を学ぶことに大変感激しています。また、明治国際医療大学は、施設が整い、環境がすばらしかったです。このような大学で学べたことを大変嬉しく思っています。今回の滞在では、殆ど全てのことが印象的でした。ポルトガルとは全く異なる素晴らしい環境で学べましたし、日本の人たちの親しみ深い歓迎の中で、トレーニングに集中することができたことは素晴らしいことと思っています。」



日本の鍼灸について、本学教員からのレクチャー



灸実習



京都市内に観光(右:ミゲル・ラミレス氏)



学長より短期研修修了証の授与



協力スタッフとの集合写真

Korea

また2月4日～15日まで、韓国の漢陽大学(Hanyang University)から5名の医学生が研修に来られ、鍼灸学部の学生達と交流しました。今回の交流は、京都新聞の企画「@キャンパス」で取り上げられており、学生達が紙面を作製します。記事は5月1日の夕刊に掲載される予定です。



日本の鍼灸を体験



短期研修修了書を授与



お別れパーティー



附属統合医療センターでの研修

韓国医学生は、医学の知識だけでなく、英会話力を高めるための教養に優れ、好奇心旺盛で何事にも積極的な姿勢は、非常に刺激的でした。若い間にぜひ海外に出て国際感覚を身に付けたい!!

鍼灸学部4年生 隅 周平さん

英語でのコミュニケーションだったので、難しく感じる事もありましたが、韓国の学生さん達はとても優しく、日本語も話して下さり、とても素晴らしい経験になりました!

鍼灸学部4年生 北林 知佳さん

第6回 教室紹介

「基礎柔道整復学Iユニット」

基礎柔道整復学Iユニットにおいて、教育活動としては、柔道整復の基礎となる知識を中心に教授しています。柔道整復学概論では、柔道整復の成り立ちから現代における活動内容を、柔道整復学総論では、実際に患者さんを診るための基礎知識を教授しています。また柔道整復領域の基礎実習として包帯の巻き方、各種治療機器の使用方法などを実際の体験を通して講義しています。研究活動では、柔道整復施術の効果を科学的かつ客観的に分析し、柔道整復領域や医学領域の学会において、その成果を報告しています。

〈担当授業科目〉

柔道整復学概論 基礎後療学・実習 応用後療学・実習 医療面接



角谷和幸 助教(左) 池内隆治 教授(中央) 川村 茂 講師(右)

マラソン大会でのスポーツケアサポート

京都丹波ロードレースにおいて、スポーツケアコーナーを設け、本学教員および学生スタッフが参加ランナーに対してスポーツケアサポート(ウォーミングアップジェル塗布、ストレッチング指導、アイシングなど)を行っています。この活動は、大会ホームページでも紹介されています。

<http://kyototambaroadrace.jp/event/support-event.html>



卒業研究(池内ゼミ)

池内ゼミでは、おもに運動による筋肉の痛みと鎮痛に関する研究、柔道整復領域の治療機器が自律神経機能に及ぼす影響をテーマにしています。教員が研究成果を学会報告するのは当然ですが、学生達も卒業研究の成果について学会や研究会で報告を行います。



研究テーマと活動



本ユニットの研究の主軸テーマは、運動による筋肉の痛みと鎮痛に関する研究、柔道整復領域の治療機器が自律神経機能に及ぼす影響、包帯固定の実践的教育指導に関する研究、超音波診断装置による生体の観察、柔道整復術に対する筋電図による分析などです。各研究グループは4年生の卒業研究とも連携し、ゼミ方式ですすめられ、各研究室では、教員と学生が和気あいあいと和らいだ空気のなかで研究が行われています。

～講義と臨地実習のかけ橋～

「急性期看護学を学ぶ」

成人看護学ユニット 田口豊恵 教授

看護学部では、3年生後期から4年生前期にかけて看護の実際を現場で学びます。京都府北部～京都市内、大阪、滋賀という広域にわたり、2週間または3週間の実習を展開し、患者様や利用者様に対する看護をじっくり学んでいきます。今回、その一部ではありますが、急性期看護学の学内演習・実習風景をご紹介します。

(左から) 林朱美先生、藤田智恵子先生、田口豊恵先生、中森美季先生 ▶



ICU(集中治療室)の学内演習風景

講義担当 藤田智恵子 准教授

急性期看護学実習では2週目の水曜日に、学内で実習室に設定されたICUに近い環境で患者、家族、看護師役を設定し、演習を行っています。演習後には、この体験をもとにディスカッションを行い、ICU入院中の患者様とご家族に対する援助について学びを深めています。



「ICUに入室している患者様ってどんな感じだろう。」
「どんなケアをしたいのかなあ。」



口に管が入っている患者様は話すことができないので、文字盤でのコミュニケーション。「文字盤、ちゃんと読みとれるかなあ」



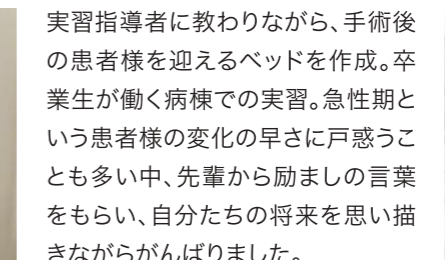
演習で気づいたことを真剣ディスカッション!

病院実習風景①—京都市立病院6階西病棟

講義・実習担当 中森美季 講師



足りないものがないか、しっかり点検!



「ICUに入室している患者様は話すことができないので、文字盤でのコミュニケーション。「文字盤、ちゃんと読みとれるかなあ」



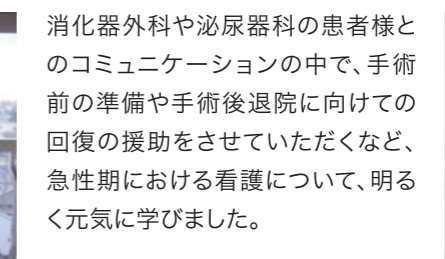
ナースステーションにて、指導者さんと先輩と一緒に撮影協力:3年生(5期生)の実習5グループ

病院実習風景②—社会保険京都病院B6病棟、A7病棟

実習担当 林朱美 助手



病院の踊り場にて



消化器外科や泌尿器科の患者様とのコミュニケーションの中で、手術前の準備や手術後退院に向けての回復の援助をさせていただくなど、急性期における看護について、明るく元気に学びました。



撮影協力:3年生(5期生)の実習6グループ



自転車ロードレースで スポーツケア活動

5月27日、京都府南丹市美山町において、自転車ロードレース「2012MBKカップ美山サイクルロード」が開催され、鍼灸学科、柔道整復学科の教員、大学院生および鍼灸学部4年生の学生が、参加選手のスポーツケア活動を行いました。本大会は、国体の京都府予選や近畿高校選手権などを兼ねており、選手たちは、事前のコンディショニング作りやレース後のケアを重要視されているようで、33名の選手がブースを訪れ、好評を得ることができました。



エイズ予防啓発活動



12月10日、看護学部3年生の地域看護学実習のグループが中心となり、手づくりのレッドリボンや啓発チラシを学生たちに配布し、エイズ予防の大切さを訴えました。その後、エイズ予防啓発活動を行うボランティアグループ「紅紐〜べにひも〜」のメンバーである佛教大学社会学部4年生の高田賢氏を招き、同世代間の「ピア・ディスカッション」を行い、共に学び合いました。

ティアグループ「紅紐〜べにひも〜」のメンバーである佛教大学社会学部4年生の高田賢氏を招き、同世代間の「ピア・ディスカッション」を行い、共に学び合いました。



禁煙啓発活動



亀岡市、南丹市、京丹波町の成人式(1月13日・14日)で、看護学部1年生の生活安全係を中心とした学生たちが作製した、禁煙啓発ティッシュが配布されました。昨年のたには祭でメンバーが実施した禁煙啓発ティッシュ配布のアイデアが、京都府南丹保健所の保健師に注目され、成人式で保健所が配布する禁煙啓発ティッシュのデザインに採用されました。今回の試みは京都新聞(2013.1.12)でも紹介されました。

保健医療学部スキー場実習



柔道整復師はスポーツにおいて、その場で治療が行える資格であり、今後も活躍が期待されています。本学では、神鍋高原万場スキー場(兵庫県豊岡市日高町神鍋高原)のグレンデの一部に救護所を設け、スキーヤーやボーダーの傷害に対する応急処置やスポーツケア(ストレッチングやテーピングなど)を行っています。実際の患者さんに対するケアを通じて、柔道整復の応急処置法や柔道整復師としてふさわしい態度を学びます。学生達は、現場の実習に緊張しながらも、空き時間には雪山を楽しんだり、有意義な時間を過ごしています。

読書感想文コンクール

10月、附属図書館主催で第2回読書感想文コンクールを開催しました。今回は学部生19篇、大学院生7篇の応募があり、図書館長賞に『卵の緒』で鍼灸学部1年中尾麗花さん、優秀賞に看護学部1年宮崎雅子さん、大学院修士課程2年芝貴洋さんがそれぞれ受賞されました。



▲(左から)宮崎さん、樋口図書館長、芝君、中尾さん

～中尾麗花さんの受賞コメント～

私がこの「卵の緒」を選んだのは息詰まった時に読むと、肩の力が抜ける優しい本だったからです。本を読むことで、何か知識を得るだけでなく、ホットすることのできる一つの手段になればいいなと思います。

第3回の開催も予定しております。多くの学生さんの応募をお待ちしています。

第35回 たには祭

本学の秋の風物詩、「たには祭」が去る10月20日～21日の間で開催されました。「たには祭」は今年で35周年を迎え、記念の年を例年以上に盛り上げようと、お笑い芸人ライブを開催する等、新たな企画も盛り込みました。当日は天候にも恵まれ、沢山の方にお越しいただくことができ、例年以上に賑やかな祭りとなりました。また、地域の方々からも2店模擬店を出店いただき、鹿肉コロッケや黒豆といった京都丹波の名産品の販売や、「道の駅スプリングス日吉」から、駅長のゆるキャラ「ゆっぴー」のゲスト出演もあり、大学と地域・企業の繋がりが合いも、より一層強くなったのではないかと思います。



「ビジネスマナー講習会」「卒業生講演」開催!



12月3日・20日、3～4年生を対象としたマナー講習会を開催いたしました。当日はハローワーク西陣 烏丸御池プラザから学卒ジョブサポーターの寺田郁子氏を迎え、「カタチから入る面接対策」として面接時の基本動作や服装・身だしなみチェック等について実演を交えた講演があり、懇切・丁寧な指導が参加者からは非常に好評でした。また、鍼灸学部および保健医療学部では、姉妹校の明治東洋医学院専門学校との合同就職説明会を79事業所の参加を得て12月9日に開催すると共に、1月10日には、大学11期卒の小泉英一氏(株式会社SHIN9代表取締役)を迎え、就職ガイダンスとして「就職、開業に関する先輩からのアドバイス」をテーマに卒業生講演がありました。

課外活動 Pickup

バレーボール部

バレーボール部では、「勝つ」バレーを目指す選手、「楽しく」バレーを続けたい選手、それぞれが自分の目標を持ち、初心者、経験者が一緒になって汗を流しています。大会ごとに、勝ちにいく試合をするか楽しむ試合をするかを考え、選手と監督が相談し、チーム編成を行っています。目標達成に向かって、時には女子選手が1m以上の台に上り、ブロックやスパイクを打って、男子チームをサポートするなど、男女一丸となって活動しています。本年度は、男子は関西学連リーグ7部に昇格、女子は地元南丹市の大会で9人制、6人制共に優勝しました。さらに南丹市の強化チームに選手が選抜されるなど、各選手の努力が実った年となりました。また、バレーボール以外にも部員のパーサーパーティーや遠足、マラソン大会参加など一年を通して企画が多いことも特徴です。これからも厳しさも楽しさもとことん追求する、メリハリのある部活を目指していきますので、応援よろしくお願いします。そしてOB・OGの皆様、いつでもご連絡をお待ちしております。

